

## サプライヤー行動規範

### はじめに

マニーグループ（以下、マニー）は、「患者のためになり、医師の役に立つ製品の開発・生産・提供を通して世界の人々の幸福に貢献する」企業として、付加価値の高い世界一の品質を備えた製品を開発・提供することで、患者・医療従事者・その他消費者における医療課題を含む、様々な社会課題解決への貢献を目指しています。

マニーは、上記企業理念のもと、Integrity(誠実さ)、Passion(情熱)、Communication(コミュニケーション)(I.P.C.)をその社員の行動規範とし、人種、宗教、国籍、年齢、性別、出身、障がいの有無などを問わずに相互に理解し信頼関係を築くこと、及び、これらによる不当な差別、ハラスメントを行わず、個人と人権を尊重することを社員の行動の基本姿勢としています。また、マニーは、医療機器の提供者として、生命・環境の大切さを常に意識し、安全で効率的に働く職場及び環境負荷の低減を目指し、全員参加で熱心に粘り強く活動するため、環境・労働安全方針を設けており、労働関係法令を遵守し、事業活動に関わるすべての人にとって安全で働きやすい職場環境の維持向上に努めます。

そして、今回マニーがサプライヤーに期待する行動、手続および手順について「サプライヤー行動規範」を制定いたしました。

この規範は、現時点で可能な限り、関連する全ての法的要件を反映しながら、公正で良識ある事業活動への取組方を示しています。

マニーに資材またはサービスを提供するにあたり、すべてのサプライヤーには、適用されるすべての法令に加えて、この行動規範を遵守していただく必要があります。また、この規範の遵守を実証するために必要な情報を、マニーが合理的に要請した場合、これに応じていただく必要があります。

### 良好なガバナンス

倫理的行動は、マニーが行うあらゆる活動に不可欠な要素です。贈収賄や汚職関連リスクを回避するための厳格な基準の適用および倫理基準の遵守は、我々の事業が継続的に成功するためには必要不可欠です。

マニーのサプライヤーは、日常の商取引において詐欺や不正行為を犯すことなく、公平かつ公正に、自社の顧客、サプライヤーその他の事業者と取引を行っていただく必要があります。

マニーは、すべてのサプライヤーに以下の実施を要請しています。

項目	サプライヤーに期待する行動
リスク管理	<ul style="list-style-type: none"><li>・ リスクに対して責任ある行動を示し、ひるがえって自らのサプライヤーに対しても同様の期待をすることを期待します。</li><li>・ 自らの業務およびサプライチェーンのあらゆるリスクを定期的に評価・査定するための手順を策定し、実施することを期待します。</li><li>・ リスクが特定された場合にはアクションプランを実行することを期待します。</li><li>・ Maniグループのサプライチェーンにおけるリスク水準を著しく上昇させる問題や事態の展開があった場合にはこれを通知するよう期待します。</li><li>・ 自然災害やテロ攻撃、暴動、感染症の蔓延等の緊急事態の結果として発生する事業の停滞に対して、レジリエンスを高め準備を整えることを期待します。これには、適切な緊急時対策の実施や、サプライチェーン内のリスクに関する定期的なレビューが含まれるべきです。</li></ul>
競争法遵守	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自由競争もしくは市場アクセスを偽造もしくは歪曲する行為、または競争法に関する適用規則を侵害する行為を禁止することを期待します。</li></ul>
贈収賄・汚職防止	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 職業上倫理的に、公正に、かつ誠実に行動することについて個人的責任を受け入れることを期待します。</li><li>・ 賄賄の申し出、約束または提供を防止し、また関係者による賄賂の要求、受領承諾もしくは受け入れを防止することを期待します。</li><li>・ 従業員行動規範を堅持し、これに則って行動することを期待します。</li></ul>
利益相反	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自社の取締役、執行役員、または従業員のいずれかが、当社グループ従業員との間において 利益相反に至る可能性のある関係を有することに気づいた場合、Maniグループに直ちに通知することを期待します。</li></ul>
知的財産と サイバーセキュリティー	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 知的財産権を尊重し、保護することを期待します。</li><li>・ 自らのシステム内で堅牢なサイバーセキュリティプロセスを実行し、維持することを期待します。</li><li>・ すべての個人情報の利用 および保存については、適用される法律および規則を遵守することを期待します。</li></ul>

- ・ 取引先から当社への利益相反行為に気づいた場合は、公益通報窓口への連絡を要請する
- ・ (公益通報 | 企業情報 | MANI, INC. <https://www.mani.co.jp/company/policy4.html>)  
メールアドレス tsuho@mani.inc または mani.bengoshi@ilo.gr.jp)

## 企業の社会的責任

マニーは世界規模で事業を展開する主要企業として、世界各国の従業員や事業を営む地域社会、そして事業上の多くのステークホルダーと重要な関係を有しています。従って、マニーは企業の社会的責任を真剣に受け止め、国際的に認識されている人権を尊重します。

すべてのサプライヤーは、最低の要件として、国際労働機関（ILO）の労働基準を遵守する必要があります。

すなわち、サプライヤーは人権尊重を促進する雇用基準を適用すべく努力していただく必要があります。採用・昇進・異動・解雇等において、人種・皮膚の色・信条・国籍・年齢・同性を含む配偶者の有無・妊娠および出産育児・性別・性転換・性的指向・宗教または信仰・出身国または民族・障がいの有無・労働組合加入・支持政党・その他法令で保護された地位を理由とする意図的な差別を行ってはなりません。

国や地域によって年齢差別に関する法律があれば、それを遵守していただく必要があります。いかなる場合も、虐待、ハラスメント、脅迫行為は許されませんし、これらの被害を訴えた個人への圧力や報復行為も同様です。

マニーは、人権、倫理、環境責任に関する価値観を共有できる企業から、部品や資材を調達することに注力しています。このような観点から、マニーは、人権を尊重するような方法で鉱物資源を調達することに注力しています。

マニーは、サプライチェーンおよび事業活動のあらゆる場面において、奴隸制度や人身売買

がないことを確実なものとすべく取り組んでいます。

マニーはすべてのサプライヤーに以下の実施を要請します。

項目	サプライヤーに期待する行動
紛争鉱物	<ul style="list-style-type: none"><li>Maniグループに提供する製品に、武装集団に対する資金その他の利益供与や人権侵害につながるような鉱物またはその派生物に由来する金属が含まれないようにすることを期待します。</li><li>紛争鉱物およびハイリスク地域で得られたその他の鉱物の調達に関してデューデリジェンスを実施し、紛争鉱物報告義務の遵守において、Maniグループおよび当社顧客をサポートすることを期待します。</li></ul>
奴隸制および児童労働反対	<ul style="list-style-type: none"><li>私たちはすべてのサプライヤーが、労働時間に関する各国の雇用法を尊重することを期待します。Maniグループは、強制労働やその帮助を行うサプライヤーとは取引を行いません。15歳未満、または法律に定めるそれ以上の年齢の年少者を雇用してはなりません。</li><li>奴隸および人身売買に関する法制を遵守すること期待します。</li><li>借金による束縛や安全でない住宅の提供のような労働者搾取のリスクを軽減するため、人材紹介会社やプローカーが介入する場合は、適切なデューデリジェンスと継続的管理を行うことを期待します。</li><li>従業員全員(人材紹介会社やプローカーを通じて採用された従業員を含む)に対して、少なくとも法定最低賃金基準を適用し、不当な控除を行わないよう徹底することを期待します。</li></ul>
健康と安全	<ul style="list-style-type: none"><li>労働環境に内在する危険を合理的に実行可能な範囲で最小限に抑えることによって、安全で健康な労働環境を提供することを期待します。</li><li>有害な物質、機械またはオペレーションに従業員がさらされるリスクを最小限に抑えることを期待します。</li><li>感染症が発生した場合には、従業員や訪問者を十分に保護することなど、実効性のある安全ポリシーを堅持し、運用することを期待します。</li></ul>
人権および雇用基準	<ul style="list-style-type: none"><li>労働時間に関する各国の雇用法を尊重することを期待します。</li><li>最低要件として国際労働機関(ILO)の関連する労働基準に適合しなければなりません。これはサプライヤーが、人権尊重を促進する雇用基準を適用するよう努力しなければならないことを意味します。いかなる場合も、虐待、ハラスメント、脅迫行為は許されませんし、これらの被害を訴えた個人への圧力や報復行為も同様です。</li></ul>
インクルージョン &ダイバーシティー	<ul style="list-style-type: none"><li>自社の事業活動およびサプライチェーン内において包括性と多様性を促進することを期待します。</li><li>採用、昇進、異動、解雇およびその他の雇用関連活動において、人種、皮膚の色、信条、国籍、年齢、結婚または市民パートナーシップ、妊娠および出産育児、性別、性転換、性的指向、宗教または信仰、民族または国籍、障害の有無、労働組合加入、支持政党または法で保護されたその他の地位を理由とする意図的差別を行ってはなりません。</li></ul>

## 環境への責任

マニーは、環境のサステナビリティ（持続可能性）に全面的に取り組んでいます。マニーはサプライヤーと、そして必要に応じて政府、規制当局、科学団体およびその他の関連するステークホルダーと建設的に連絡・連携をとり、持続可能な開発（発展）という共通目標に向かって推進をもたらすような、企業や地域社会によるさまざまな取組の推進を図っています。

従って、マニーのサプライヤーもまた、環境に与える影響を低減させるための重要な役割を担っていることを認識していただく必要があります。

サプライヤーが環境保護のために最良の実施例を実現しようと継続的に努力することにより、豊かで持続可能な未来を創造していく過程の一端を担うことを期待します。

マニーはすべてのサプライヤーに以下の実施を要請します。

項目	サプライヤーに期待する行動
危険物管理	<ul style="list-style-type: none"><li>社内規定や手順だけでなく、適用法、規制および基準の遵守を通じて危険物質を管理することを期待します。</li><li>サプライヤーは自社の営業員、施設、周辺地域社会および環境に深刻な被害をもたらす可能性のある危険物質の放出、火災、爆発、その他の重大な事故を防止するため可能な限りすべての対策を講じなければなりません。</li></ul>
持続可能な発展	<ul style="list-style-type: none"><li>環境保護のためにベストプラクティス(最良の実施例)を実現し、その業務遂行が環境に与えるいかなる有害な影響も、合理的に実践可能な範囲内において最小限に押さえる様継続的に努力する事により、豊かで持続可能な未来を創造していく過程の一端を担うことを期待しています。</li></ul>
環境への責任	<ul style="list-style-type: none"><li>すべての適用環境法を遵守する事を期待します。</li><li>自社事業の環境リスクに合わせた環境ポリシーを策定する事を期待します。</li><li>既存の工場施設や機器を稼働するに当たって環境に与える影響を最小限に押さえる方法を定めた手順に従うことを期待します。</li><li>従業員一人一人に環境保護に対する責任を自覚させるよう彼らを教育し、必要なリソースを提供することを期待します。</li></ul>
水の消費と資源管理	<ul style="list-style-type: none"><li>エネルギーおよび材料の使用を最小限に抑えるよう実践的な努力を行うことを期待します。</li><li>水を最大限効率的に使用するための実践的な取り組みによって、廃水の質を許容範囲内に保てるようコントロールすることを期待します。</li></ul>
廃棄物管理と排出削減	<ul style="list-style-type: none"><li>可能な限り廃棄物の再利用とリサイクルに努める等、廃棄物の発生を最小限に抑えるための実践的な努力を行うことを期待します。</li><li>汚染物質の大気排出を許容範囲内に抑えるための対策を実施することを期待します。</li></ul>

公開：2025年10月22日

マニー株式会社  
代表執行役社長 渡部 真也

以上